

平成 27 年度水産環境保全委員会シンポジウムの開催について

水産環境保全委員会委員長 大越和加

下記のとおりシンポジウムを開催いたしますのでご来聴くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時: 2015 年 9 月 25 日(金)13 時～17 時 30 分

場 所: 東北大学 川内キャンパス

テーマ: 東北・北海道沿岸における東日本大震災以後の貝毒の問題

企画責任者: 今井一郎(北大院水)・西谷 豪(東北大院農)・横山勝英(首都大)

プログラム:

13:00-13:05 開会挨拶 水産環境保全委員会委員長

13:05-13:10 趣旨説明 今井一郎(北大院水)

13:10-13:40 「東日本大震災による津波被害の状況と海水・海底への影響－宮城県気仙沼湾での調査事例－」

横山勝英(首都大)・吉永郁生(鳥取環境大)・畠山 信(NPO 森海)・田中 克(舞根研)

13:40-14:10 「宮城県仙台湾の Alexandrium 属シストの分布に及ぼした津波の影響」

神山孝史(水研セ東北水研)・山内洋幸(宮城水技セ気仙沼水試)・長井 敏(水研セ中央水研)

・山口峰生(水研セ瀬戸内水研)・阿部博和(水研セ東北水研)

14:10-14:20 休 憩

14:20-14:50 「北海道噴火湾における津波前後の Alexandrium 属シストの挙動」

夏池真史(東工大院理工)・金森 誠(函館水試/北大院水)・馬場勝寿(道総研)・森部和臣(北大水)

・山口 篤(北大院水)・今井一郎(北大院水)

14:50-15:20 「岩手県沿岸域における有毒プランクトンの挙動と貝毒の問題」

加賀新之助(岩手県水技セ)

15:20-15:50 「東日本大震災後の宮城県気仙沼湾における Alexandrium 属プランクトンの分布パターン」

石川哲郎(気仙沼水試)・日下啓作(宮城水基課)・押野明夫(宮城水技セ)・西谷豪(東北大院農)

・坂見知子・神山孝史(水研セ東北水研)

15:50-16:00 休憩

16:00-16:30 「高密度の有毒プランクトンのシストを含む表層海底泥の除去による貝毒発生リスク低減の可能性」

峰 寛明(株式会社エコニクス)

16:30-17:00 「寄生性真核微生物は貝毒対策の救世主となるか？」

山口峰生・坂本節子(水研セ瀬水研)・木村圭(佐賀大低平セ)・加賀新之助・加賀克昌・内記公明(岩手水技セ)

17:00-17:25 総合討論

17:25-17:30 閉会挨拶 水産環境保全委員会委員長

開催趣旨

2011年3月の東日本大震災による巨大津波によって海洋環境は大きく攪乱され、4年半が経過した。特に震災による影響の大きかった宮城県や岩手県沿岸部では、震災以降に貝毒の原因となる有毒プランクトンの発生規模と頻度が急激に増加し、それに伴う漁業被害が拡大している。本研究会では、津波の影響の大きかった各海域におけるその後の変化と現状を総括すると共に、震災以降に貝毒被害が拡大した原因や発生機構について整理し、被害の軽減を目指した対応策について議論することを目的とする。

問い合わせ先

〒981-8555 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町 1-1 東北大学大学院農学研究科

日本水産学会水産環境保全委員会 幹事 西谷 豪

TEL: 022-717-8733 FAX: 022-717-8734 E-mail: ni5@bios.tohoku.ac.jp